

議長定例記者会見 会見録

日時：令和6年7月1日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

- 「第18回紀伊半島三県議会交流会議」の開催について

2 質疑項目

- 「第18回紀伊半島三県議会交流会議」の開催について
- 6月定例会議を終えての所感
- 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の招致決議
- 議会におけるパワハラについて

1 発表事項

- 「第18回紀伊半島三県議会交流会議」の開催について

（議長）おはようございます。ただ今から、7月の議長定例記者会見を開催させていただきます。本日は、発表事項が一つございます。「第18回紀伊半島三県議会交流会議」の開催について発表させていただきます。お手元の発表事項1の資料をご覧ください。「紀伊半島三県議会交流会議」は、「紀伊半島地域に共通する課題」について、三重県議会、奈良県議会、和歌山県議会の三者で意見交換を行うため、7月31日水曜日に、多気郡明和町の「いつきのみや地域交流センター」で開催します。今回の議題は、「三県の防災力向上に資する紀伊半島アンカールートの早期整備について」と「半島地域における防災・減災、国土強靱化について」であり、これらについて有意義な意見交換を行いたいと考えております。本県議会からは私と副議長をはじめ、計9名が出席する予定です。奈良、和歌山両県議会からもそれぞれ7名程度の出席を予定しており、全体で約25名程度の議員が参加する予定です。なお、会議に先立ちまして、明和町における「地域文化資源を活用した持続可能な観光地域づくり」の取り組みについて、一般社団法人明和観光商社の千田代表理事にご講演いただく予定です。私からは以上でございます。

2 質疑応答

- 「第18回紀伊半島三県議会交流会議」の開催について

（質問）一点お伺いしたいんですけども、この発表項目について、この会議において、特に三重県議会として力を入れていきたい議題というのは、何かあれば教えていただきたいです。

(議長) 今回、先ほど申し上げましたように、テーマを議題として二つ掲げております。ただ今回、一つが「三県の防災力向上に資する紀伊半島アンカールート」の早期整備について」ということと、それから「半島地域における防災・減災、国土強靱化について」ということで、やはり能登半島の震災を受けて、どうしても防災とか、そういう災害対策とか、特に半島防災ということについての意識が三重県、われわれもそうですけど、奈良県議会、和歌山県議会も強いのかなと思っていまして、ちょっとテーマが偏っているかなとも思うんですが、やっぱり時期としてはこれが必要かなということで、これをテーマに有意義な意見交換ができたかなと思っております。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。

○6月定例会議を終えての所感

(質問) 先日、6月の会議が終わりましたが、まず、改めて議長、議長になって最初の定例会というか、期間を終えられて、議事その他いろいろ含めてですけど、どのような感想を持ったのかというのをまず一点、お伺いしたいです。

(議長) 私にとりまして初めてというか、議長になってから先ほど言っていたとおり、議会を1カ月間、議事進行していくのは初めての経験ということになりましたので、緊張感を持って臨ませていただきました。特に中でも今回、議案第104号が、伊勢市のことがありまして、すぐにそのまま付託できるかどうかということもあって、ちょっとそういったイレギュラーなこともありましたので、どうするかというのは副議長といろいろ相談もしましたけれども、スムーズな形で審議をいただくような形ができたのかなと思っておりますので、そういった意味でうまく整理ができて、混乱なく進められたということは良かったかなと思っております。

○国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の招致決議

(質問) もう一点お伺いしたいのが、最終日に出てきた国スポの招致決議ですけども、あれはいわゆる、その招致の前提となる都道府県議会の決議という認識でよろしいのですか。

(議長) そうですね。はい。

(質問) あれは執行部側から、当局側から打診を受けて。一応議員提案という

ことになってはいますが、当局側から打診を受けて出したというわけではない。自発的に出てきた感じですか。

(議長) 当局側というよりも、今回発議者の方、何名かいていただいたと思いますが、そういった方たちで会派を越えて議論をいただいたと思っています。私もスポーツ議連の事務局長もさせてもらっているんですが、そのスポーツ議連というところでも、かねてからいつやるんだと、国民スポーツ大会いつ手を上げるんだと議論もありましたし、そういったこともありました。あるいはスポーツ協会さんからも要望もいただいたりもしておりましたので、そういったことも総合的に判断をして、時期的なものも考えると、知事も2巡目の最後にとのお話もされておりましたので、この時期ぐらいにやっぱりしっかり県議会としても決議をしていく必要があるだろうということだったのかなと思います。

(質問) 今回、全会一致ではないということですが、招致に全会一致じゃないことが影響を及ぼすとかそういうことは考えられないですか。

(議長) それはないと思いますし、当然多様な意見があってもいいと思いますので、全員が同じ方向を向いていなくてはいけないということは一切ないと思います。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。幹事社からは以上です。

○議会におけるパワハラについて

(質問) 県政とは少し離れてしまうんですけども、四日市市議会で一連の報道で出ているようなパワハラの問題に関してなんですけれども、改めて議長、四日市市選出の議員だと思えるんですけども、この一連のまず受け止めと、あと今の四日市市議会議長が第三者委員会を早めに設けるというふうに、われわれの報道に対しておっしゃっているんですけども、これに対する期待感とかがありましたらよろしくお願いします。

(議長) 私も四日市市議会の今回のパワハラの流れというのは報道を通じても見させていただいていますし、あるいは当然、市の職員さんや、私も四日市ですのでもいろんな方から話も聞いています。そういった中で、今回市の職員が、いろんなことは多分あるんだろうと思うんですけども、そういったことがある中で、確か7件だったと思うんですけども、そういった形で出てきたということは、おそらくいろんな思いがある中で、本当に思い切って声を上げたことかなと思っています。それに対してやっぱり議会は真摯に受け止めて、事実

関係の確認も当然必要ですし、今後の対策ということも必要だと思いますので、先ほど第三者委員会という話もございましたが、そういった形でしっかり対応いただく必要があるのかなと思っています。

(質問) ありがとうございます。この関連で、いわゆる四日市港の管理組合のほうでも、県議と市議の方も入っていると思うんですけども、この中でもいわゆる一部の市議の方から、ハラスメント行為があったんじゃないかという声が取材ではあるんですけども、この件を受けて例えば議会で調査をするとか、何か議長としてお考えがもしありましたらお願いします。

(議長) 先ほどの市議会の話は当然市議会で判断いただくことだと思っていますし、四日市港管理組合議会でもそういった声があるのを私も承知もしています。そういったこの市議会の報道を受けて、管理組合でもそういったことあったよなという声があるのは承知していますので、それについては当然これも管理組合の議会で判断いただくことになろうかと思っていますし、当然そこには県議会からも人が出ておりますので、その県議会議員の意見もしっかり考慮しながら、港の議会で判断いただくことかなと思っています。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。

(質問) 関連でいいですか、その件で。四日市市議会のほうはもちろん四日市市議会で対応するということですが、四港議会のほうだと今議長は、県選出の方で出ているわけですし、県議会のほうも主導となってハラスメントの調査とかというのはやってくようなことになるんですか。

(議長) 県議会主導でやることはないと思うんですけど、当然四港議会は四港議会ですので、四港の議会の中で判断いただくことになろうかと思いますが、県議会議員も、当然何名か行っていますので四港議会へ。その県議会議員の方からそういう声が上がってくれば、四日市市議会だけの議論じゃなくて、四港議会でも議論していただく必要があるのかなと思っています。

(質問) あと一般論としてお伺いしたいんですけど、職員と議員っていうのは、立場が違うということがあって、そういう、上下関係は本来ないはずなんですけど、どうしてもそういう関係が生まれがちだと思うんですけども、どのようにしたら防げると思われますか。こういうハラスメント行為というのは。

(議長) 防げるかどうか非常に難しい話なんですけど、一般論として言う

なら私が思うのは、やっぱりお互い少なくともリスペクトを持つというのは大事かなと思っています。どのような立場であれ、相手に対するリスペクトの気持ちを持って接するということが大事だと思っています。当然議員は地域の課題とか、いろいろ要望とか、県民市民の声をいただいてそれを役所へぶつけますので、当然その思いを実現するために強い思いで言うことは当然あると思います。ただそれも、その中で昔よく言われた、机を叩いたりだとか、相手を罵倒したりだとか、そういったことというのもナンセンスですので、もし万が一そういうことがあるようなら、あるいは相手の人格を否定するとか、もしそういうようなことがあるならば非常に問題だと思っています。ただ、役所側としても、やはり議員の声というのは県民や市民の声だということで、真摯に聞こうという気持ちも当然大事だと思っていますので、そのあたりは、お互いがリスペクトを持って接することが大事かなと思います。

(質問) 分かりました。ありがとうございます。他、特に無いということで。では質問はこの程度ということで。ありがとうございます。

(議長) どうもありがとうございました。

(以 上) 10時41分 終了